

社会科 学習の手引き

はじめに

社会科を学習すると以下のような効果が期待されます。

- 地理の学習により、それぞれの地域の特徴を知り、現在、将来の生活に活かされる。
- 歴史を学習により、様々な生き方を学び、今後の自分の生き方の参考にすることができる。
- 現代社会の状況を把握し、自らの判断に基づいた行動が出来る。

1. 家庭学習では

- 教科書を5回読む（全体像をしっかりとつかんで授業に臨もう）。
- 予習ノートを設け、重要な所を自分なりにまとめる。
- 教科書、資料集を読む。地図帳を見る。
- ノートを見て、重要事項を整理する。
- 教科書や資料集の重要事項をチェックする。
- チェックした内容、分かったことを授業用ノート等へ書き入れる。
- 「なぜそうなるのか？」ということを中心に考えながら学習をすすめる。

2. 授業では（6つの約束）

- 地理資料を分析し、なぜそうなるのか、理由を考えながら理解を深める。
- 歴史資料をしっかりと読む。歴史の流れを意識する。
- 歴史データを分析し、なぜそうなるのかを考え、発表する。
- 公民学習では常に身近な社会生活におきかえて考える。
- 板書だけでなく、重要だと思うことはノートに書き込む。
- 先生や友だちの経験談や話を聞き、自分はどうかと自問自答する。



3. テスト勉強では

- 教科書を何度も読み返す（最高の参考書です）。ノートを見直し、重要事項の整理をする。
- 地理では資料、地図から読み取れることをまとめる。そして「なぜそうなるのか？」考えを深める。
- 歴史では「歴史の流れ」「人物の考え」に重点を置き、資料等から分かることをまとめていく。
- 公民では制度や法律などについて、どうして出来たのか、なぜ必要なのか、それが世の中でどう活かされているのかに着目する。授業で使用したプリントや資料でさらに理解を深める。ワークや問題集を利用し、理解を確実なものとする。

4. ワンランクアップするために

- 毎日、新聞を読む（見出しだけでもかまわない）。
- テレビニュースを毎日見る。（現代社会の状況を把握し、自らの判断に基づいた行動が出来るようにする。）
テレビ等で出てきた地名は地図で、歴史的事項は年表で確認する癖をつける。
- 世の中の出来事に興味をもち、「なぜなのか？」という疑問を常にもつ。
- 博物館や資料館等へ足を運び、五感をフルに刺激する機会を設ける。